

令和4年度 綾部市総合教育会議 議事録

開会 13時30分 閉会 15時

1 日時 令和4年7月7日(木)

2 会場 綾部市役所 委員会室

3 出席者 市長 山崎 善也
綾部市教育委員会
教育長 村上 元良
委員 小南 直美
委員 波多野 芳雄
委員 樋口 高夫
委員 大島 友紀子

(事務局関係)

市長公室長	岩本 正信
企画総務部長	吉田 清人
保健福祉部長	大石 浩明
教育部長	大槻 伸一
教育部参事	塩尻 竹弘
学校教育課長	斉藤 さおり
社会教育課長	立藤 江理
社会教育課主幹	岡坂 敬子
学校教育課長補佐(指導主事)	青木 賢次
学校教育課長補佐(指導主事)	塩見 豊
学校教育課長補佐	
(学務指導担当長)	酒井 貴弘
社会教育課長補佐(指導主事)	辻田 均
学校教育課管理担当長	荻野 涼子

4 協議事項 第2次綾部市教育大綱にかかる成果と課題について
第3次綾部市教育大綱(案)について

5 議事の概要

- 開 会
- 市長挨拶
- 協議事項

<議長：市長>

本日の協議事項は「第3次綾部市教育大綱（案）について」です。

はじめに「第2次綾部市教育大綱にかかる成果と課題について」事務局から報告をお願いします。

（学校教育課 齊藤課長）

（社会教育課 立藤課長、岡坂主幹）

<議長：市長>

「第2次綾部市教育大綱にかかる成果と課題について」ご質問ご意見がありましたらお願いします。

<樋口委員>

課題となっています教職員の長時間勤務について質問です。新聞等で長時間勤務の影響もあってか、教員のなり手不足について報道されていますが、これは由々しきことで、教育の質に関わることでもあります。綾部市教委では、各校に勤務されている教職員の働き方改革についてどのような取り組みをされているかお聞かせください。

<事務局>

学校現場では、今も昔も先生達が子ども達に学力や生きる力をつけてやりたいという思いの中で、一生懸命仕事をしていただいています。ノルマがある仕事ではないので、きりのない仕事です。その一生懸命さが先生によっては長時間勤務に繋がっているのが現状だと思います。それを管理職が一概に止めることは難しいところです。

特に今年度は、2年間のコロナ禍で中止・縮小されていた教育活動、行事や取り組みが復活していますが、2年ぶり、3年ぶりということでコロナ禍の前に行っていたときよりもエネルギーが必要で、1学期、疲れている先生がおられるのも現状です。

しかし、今回のコロナで、学校での行事や取り組みについて、どれくらい教育効果があるのか考える機会となり、本年度は各校で様々な行事・取組について見直しが行われていると思われま

一方で教職員の働き方改革については、年度当初に市教委とPTA連絡協議会と連名で文書を発出して、保護者や地域の方々に理解を得るように努めています。また、各校には衛生推進委員がおり、月に1回は会議をし、自校の先生の健康状態や勤務の状況等について気になることを把握し、働きやすくなるよう改善を図るよう努めています。

元々、働き方改革というのは、単純に教員の仕事を減らすというのではなく、教員が誇

りや情熱を持って使命と職責を遂行できる環境づくり、先生が子どもと向き合う時間の確保が主旨となります。働き方改革を進めることで、子どもと先生の関係が希薄化したのでは本末転倒で、子どもにとっても、先生にとってもプラスになるように改革が進むように各校へ働きかけをしているところです。

<樋口委員>

教職員の仕事を少しずつ見直すということがありましたし、今回のコロナ禍が行事や取組を振り返る機会となり、少しでも省けたり、割愛したり見直していることがわかりました。今後も教職員の業務の点検や健康管理に引き続き努力していただき、先生が子どもたちの憧れの職業になれるよう、市教委でも努力が必要ですし、現場でもさらに努力いただきますようお願いいたします。

<議長：市長>

他にご質問ご意見がありましたらお願いします。

<大島委員>

文化財の活用・保護についての意見になりますが、この数年、社会教育課が実施されている文化財事業で、光明寺二王像の重要文化財指定の記念講演会や山家陣屋跡のウォーキングなどに参加させていただき、綾部の市民の皆さんが本当に歴史に興味があつて、たくさん参加されていることに驚きました。

また、本年度は息子が「子ども歴史教室」に参加させていただき、実際の発掘調査の現場に入ったり、土器の復元作業なども体験したり、大変楽しく過ごさせていただきました。なかなかこのような歴史に関われる場所はなく、息子もこれをきっかけに考古学に興味を持ったようで、将来の職業選択のきっかけとしても地域の文化財や歴史に触れる機会は大切だと感じました。

今後も地域の文化財を活用して、地域の歴史に興味を持つ取り組み、できれば子どもの頃から綾部の歴史を学ぶという取り組みをしていただき、ふるさと綾部への愛着が深まると思いますので、子どもたちは知るきっかけに、大人は学びなおすきっかけとして、こういった事業を継続して実施していただきたいと思います。

<議長：市長>

それでは「第3次綾部市教育大綱（案）について」事務局から説明をお願いします。

（教育部 大槻部長）

<議長：市長>

ただ今の説明につきまして、皆様からご質問やご意見がありましたらお願いします。

<波多野委員>

第3次の案は、全体的に第2次の課題をそれぞれどう解決するかということを決める方針に沿って、細やかな配慮で作成していただいております、体系図もすっきりしていただいておりますと感じました。

綾部市の基本理念をどう実現していくかということのために、5つのビジョン、10のミッション、学校教育や社会教育の重点が位置付けられているというところをよく整理されていると思います。

また、細かいところになりますが、不登校やいじめの未然防止についても重点に置いていただいております。子どもたちが安心して通える学校づくり、また、社会教育では市民の一人一人が生き生きと生活できる社会の実現を目指して、10のミッションそれぞれの実践が深まっていき、素晴らしい4年間が作り上げていけるように期待したいと思っております。

<議長：市長>

ありがとうございました。他に何かありますか。

<小南委員>

第2次の目標の多くが達成されていて、その中でコロナ禍によって新たに出てきた問題・課題を第3次案にしっかり取り入れてもらったことをありがたいなと思います。コロナ禍になったことで子どもたちはたくさん傷ついたと思いますが、いじめや不登校もコロナが一因にあると思います。その中でたくましく、温かく育てようとする姿勢が1番から6番までの学校教育の重点から感じられました。

また、図書館、天文館に加えて、資料館の学校や地域との連携についても重点として入っていたので、これからも期待したいと思っております。

<議長：市長>

ありがとうございました。確かに「コロナ」というワードが入っていないので、あってもいいかなと思います。事務局、何かありますか。

<事務局>

貴重な意見をありがとうございました。コロナの状況が各事業・施策に影響を及ぼしていますので反映していきたいと思っております。

<議長：市長>

文言修正については一任いただくということで、基本的な第3次綾部市教育大綱(案)について、ご承認いただければということによろしいでしょうか。

<全委員>

承認

<議長：市長>

では、第3次綾部市教育大綱（案）については、ご承認いただいたということで、ありがとうございました。

○ 意見交換

「不登校」「いじめ」「特別支援教育」

○ 閉 会

○ 教育長挨拶